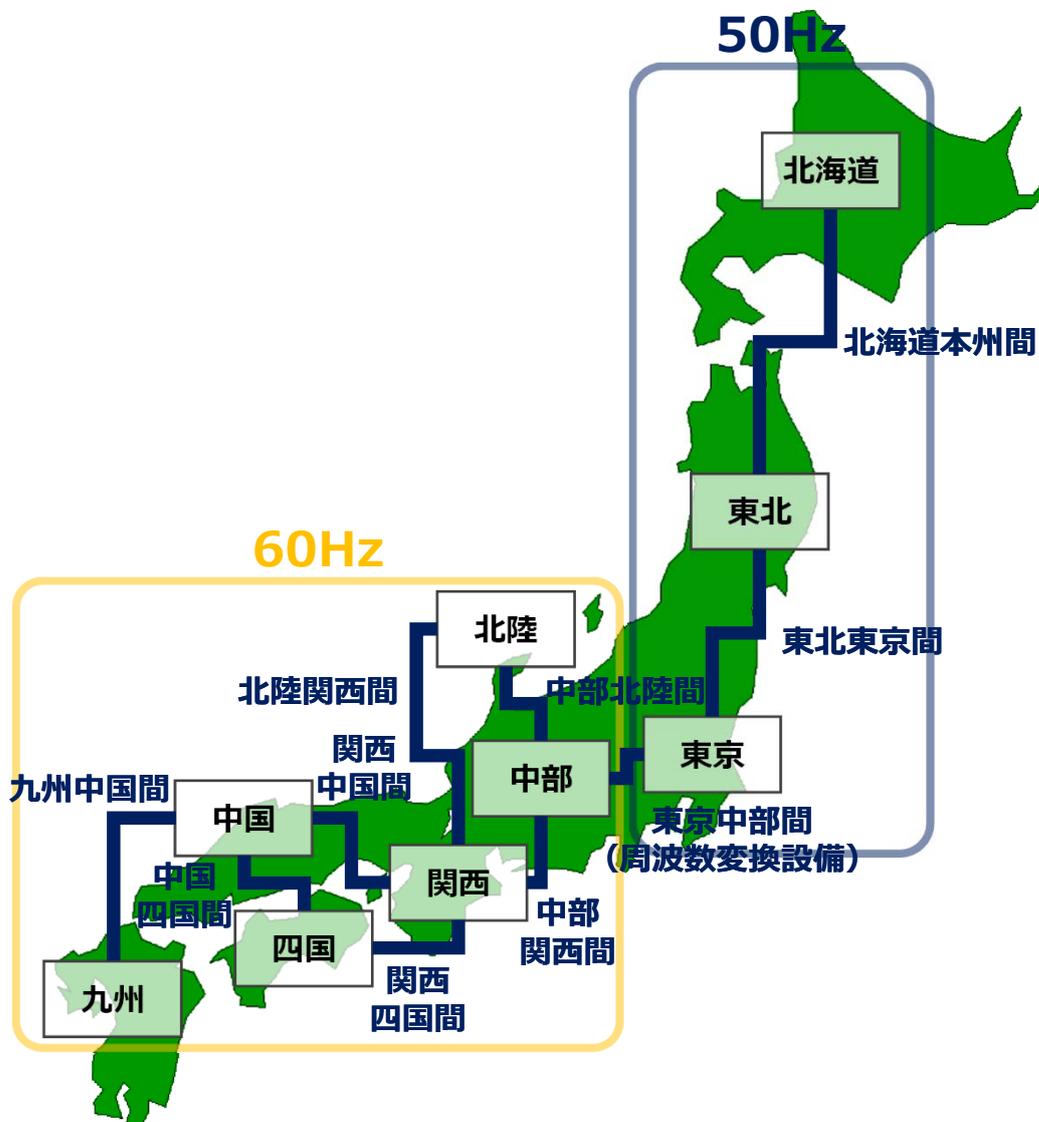


広域ブロックとは

エリア（北海道・東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州）間連系線の空容量範囲内で、各エリアの予備率が均平となるように予備率の大きいエリアから小さいエリアに電力が流れる（以降、「予備率均平化」と仮定した際に、同じ予備率で隣り合うエリアのまとまりを広域ブロックと呼びます。各エリアの需給バランスや連系線の空容量等を踏まえ、電力広域的運営推進機関によって広域ブロックを構成するエリアが決定され、時間帯ごとに変化します。

<エリア間連系線のイメージ>

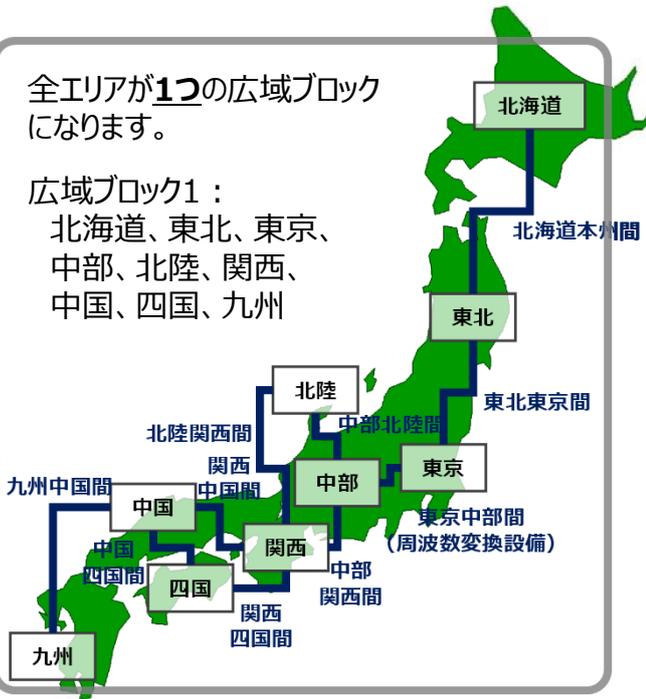


<予備率均平化を実施した後の連系線状況>

(例)すべての連系線に空き容量がある場合

全エリアが**1つ**の広域ブロックになります。

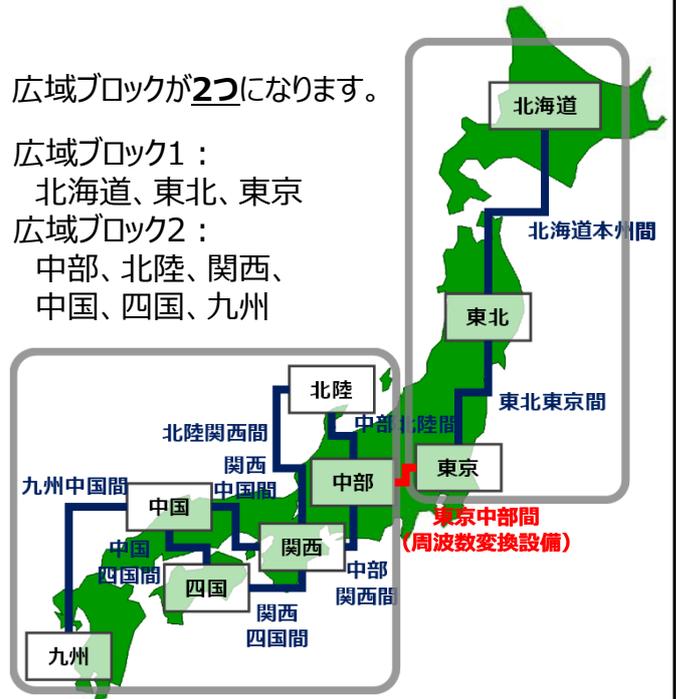
広域ブロック1：
北海道、東北、東京、
中部、北陸、関西、
中国、四国、九州



(例)「東京中部間」の連系線に空き容量がない場合

広域ブロックが**2つ**になります。

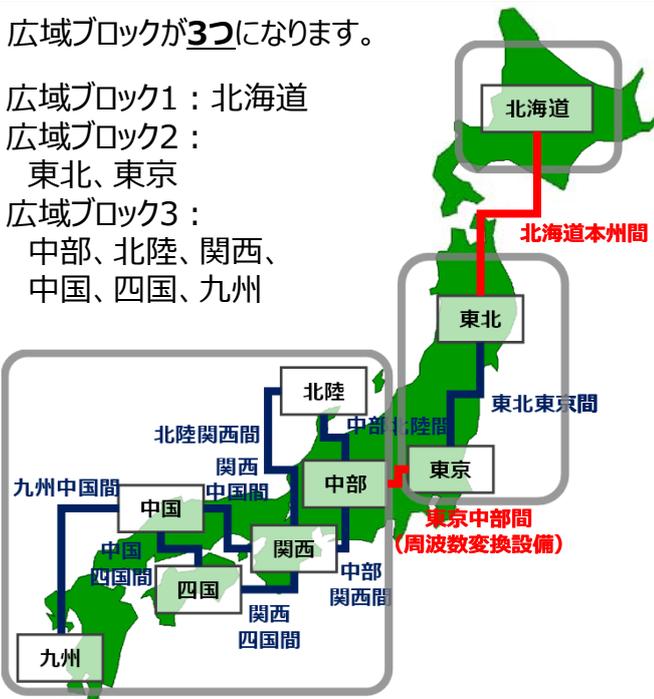
広域ブロック1：
北海道、東北、東京
広域ブロック2：
中部、北陸、関西、
中国、四国、九州



(例)「北海道本州間」「東京中部間」の連系線に
空き容量がない場合

広域ブロックが**3つ**になります。

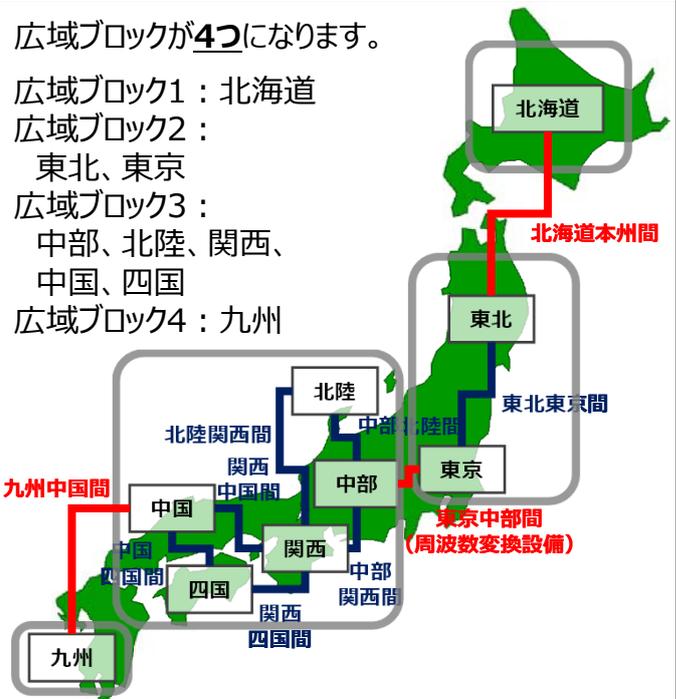
広域ブロック1：北海道
広域ブロック2：
東北、東京
広域ブロック3：
中部、北陸、関西、
中国、四国、九州



(例)「北海道本州間」「東京中部間」「九州中国間」の連系線に
空き容量がない場合

広域ブロックが**4つ**になります。

広域ブロック1：北海道
広域ブロック2：
東北、東京
広域ブロック3：
中部、北陸、関西、
中国、四国
広域ブロック4：九州



以上